



西中だより

学校教育目標

志を持ち 自ら学ぶ 健康でたくましい生徒

県下に誇れる西中を



桶川市立桶川西中学校
令和4年12月23日
第10号



令和5年を迎えるにあたって ～終業式式辞より～

校長 磯田 輝昭

今日で、令和4年度の2学期が終わります。新型コロナウイルスの感染対策を講じながらの学期でした。しかし、昨年度は中止やリモートでの実施であった教育活動も少しずつですが、以前に近い形で行うようにしてきました。新人戦、西中祭、駅伝大会、音楽会、ふれあい講演会などの多くの行事やあいさつ運動、除草作業、落ち葉掃き、募金活動、いじめ防止493のココロの取組、下校時間の呼びかけ等の活動がありました。それぞれの行事や活動の取組を通して皆さんが大きく成長した2学期でした。2学期は、それぞれの学年の特徴が見られる学期でもありました。学校生活にも慣れて中学生らしくたくましくなってきた1年生。3年生から学校の先導役としてのバトンを引き継ぎ、進化し続ける2年生。授業でも行事でも1、2年生の模範となり、リーダーシップを発揮した個性溢れる3年生。2022年に一人ひとりが学びの中から獲得した「よさ」を新しい年につなげて更に成長をして欲しいと願っています。

さて、今年もあと8日で終わり、新しい年、令和5年(2023年)となります。新しい年を迎えるにあたって、皆さんに3つのことを行って欲しいと思います。

1つ目は、**大掃除をすること**です。

お正月は、新しい年神様を迎えて、私たちが新鮮な気持ちにしてくれるとても有り難い行事です。その年神様が降りてこられるのが、門のところに立てる門松です。門松は、神様が降りてくる目印になるのです。天から降りてこられる年神様を「待つ木」と言うことで、「松の木」つまり「門松」を立てるようになったのです。

また、お家の玄関に正月飾りを飾るのは、年神様をお迎えするためにお家の大掃除をしましたよ、お清めをしましたよ、というサインなのです。

皆さんも、自分の部屋を掃除したり、お家の掃除を手伝ったりして新しい年を気持ちよく迎えられようようにしてください。校長先生も明日から計画的にお家の大掃除をしようと思っています。

2つ目は、**新年の挨拶をすること**です。

「明けまして、おめでとうございます。」とか「今年もがんばりますので、よろしくお祈りします」など、家族に 地域の方に 親戚の方に 友達等 新しい年になって、初めて会う人に 新年の挨拶をはっきりと言いましょ。そうすることにより、すがすがしい気持ちで1年のスタートが切れると思います。

3つ目は、**早めに目標を決めること**です。

「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。この言葉は、「新しい一年をよい年にするためには、早めに計画を立てることが大事である」という意味です。新しい令和5年に自分は、「どんな人になりたいか」「そのために何をがんばるか」をよく考えて、冬休み中に新しい年の目標を決めてください。

特に3年生は、進路を決める大事な時期となります。自分で決めた目標を再確認し、進路実現に向けて残された時間、最大限の努力をしていきましょう。

それでは、感染対策を確実にを行うとともに、交通事故やSNSによるトラブルに巻き込まれないようにして、16日間の冬休みを健康に過ごしてください。そして、よいお正月をむかえてください。また1月10日に会いましょ。

今年も残り少なくなりました。新しい年が桶川西中学校の生徒・保護者の皆様、そして地域の方々にとって充実したすばらしい年となるようお祈り申し上げます。来年も子供達の健全育成のため、今年同様、桶川西中学校へのご支援・ご協力をお願いいたします。